

## 第73回 「社会を明るくする運動」うきは市青少年弁論大会

～優秀賞～

### 中学生になった私

浮羽中学校1年

末次 葵



みなさんは今、どのような中学校生活を送っていますか。大人の方は、どのような中学校生活を送っていましたか？考えてみてください。

世界ではいろんな国や地域で、様々な問題が起こり、毎日ニュースで取り上げられています。しかし、今の私にとっては、毎日の生活の方が大問題です。生活のリズムが変わり、やらなければならぬ事が増え、毎日が目まぐるしく過ぎていきます。このままだと、訳が分からないまま一年が過

ぎてしまいたいそうなので、自分なりの目標を三つ立てました。

一つ目は、友達とのコミュニケーションを大事にする事です。自分の事を知ってもらおう事と、相手の事をよく知るために、会話での言葉選びや態度が大事だと考えたからです。会話はまだまだ緊張します。原因は、相手の事を知らない事と、自分が相手にどう思われるか不安があるからだと考えました。お互いを理解し合うために、一方的にならず、相手の話をしっかり聞き、相手の立場に立って考え、行動し、相手によって態度を変えないことを心がけるように決めました。またクラスでは、みんなで声をかけ合い、ルールを守りながら協力し、決めた事や役割に対して、責任を持つて最後まで成しとげたいです。考え方は人それぞれですが、学校や社会は規制がある中、みんなで力を合わせなければ良い結果にはつながらないと思うのです。それは、体育祭などの大きな行事だけでなく、日々のそうじでさえもそうです。協力し合う事で、クラスやみんながまとまり、強い絆や信頼関係が生まれると考えました。

二つ目は、何事にも積極的にチャレ

ンジし、行動する事です。今までの私は、積極的に誰かに声をかけたり、発表したりするのが苦手でした。自分の考えに自信が持てず、消極的になつてしまうのです。そこで、この弁論大会に参加すれば、目標達成に一步步近づき、自分自身を変えるきっかけになるのではないかと思いました。小学生の頃と違い、自分で判断し行動するという事が増えました。そんな時、弱気な自分に負けないよう、常に一歩踏み出す勇気を持ちたいです。そうすれば、今まで『どうせ自分にはできない』と決めつけて、あきらめていた事も、やってみようという気持ちになると思います。

三つ目は、勉強と部活動の両立です。科目は増え、大きなテストもあり、集中力を切らさないよう、毎日が抜けません。

部活動は卓球部に入り、先輩方のように上手にラリーが出来るよう頑張っています。同じ仲間がいるからがんばる事ができているし、先輩方と接する中で、少しずつ礼儀を身に付けることができていると感じます。

しかし、部活でつかれたり、ついテレビに気を取られ、勉強がおろそかになってしまふことがあるので、計画、時間配分、オン・オフの切り替えなどの工夫をしようと思います。

私はいつも母から、「今はこんな事まで学べていいね、うらやましい。」とよく言われます。私は嬉しくもない

し、素直に母の言葉を受け取れませんが、きつとみなさんにも似たような経験があると思います。「これって意味あるの?」「この活動で本当によくなるの?」とか、「好きな事だけやっていいのに。」と、私にも、心のどこかで、自分のやっている事がとても小さく無意味に感じることはありません。

そんな時、『無用の用』ということわざを知りました。「見意味がないように思えるものが、実は重要な役割を担っている。」という意味です。反対の意味の言葉の連続でどっちなの?と混乱してしまいましたが、おもしろい言葉だと思いませんか?私は、この言葉を知り、むだなものは何ひとつないと考えられるようになりました。

これから先、今しか学べない事、体験できない事にたくさん出会うと思います。自分自身を成長させるチャンスを逃さないように、どんなことでも精一杯がんばり全力で楽しむ、これが今の私の役割・使命だと考えます。その過程で、自分の周りで起こっている事だけでなく、地域や社会で起こっている事にも目を向け、考え、そして、自分の進むべき道を見つけていきたいです。

自分が頑張っていることに、むだなことは何ひとつないと思うので、みなさんもひとつひとつの過程を大事に一緒に頑張っていきましょう。